

活用に向けた市民参加による検討の進め方

現在の「地域課題やニーズ」と今後の「環境変化」の2つの視点を踏まえ、活用の検討を進めます。皆さまのご意見やニーズをより反映した検討内容とするため、様々な市民参加の機会を設けます。

また、検討過程を皆さまと共有するため、継続的に情報発信を行います。



現区役所等施設・用地の活用に向けた検討

地域課題
ニーズ

環境変化

人口動態や生活様式等の変化

2つの視点を踏まえ、活用の検討を進めます

市民参加の手法
ヒアリング、アンケート、ワークショップ

資産マネジメント第3期実施方針

中長期的視点から、施設の多目的化・複合化等の資産保有の最適化を重点的に推進するための考え方をとりまとめた、「資産マネジメント第3期実施方針」との整合を図ります。

情報発信

検討状況の情報を広く発信していきます

発信方法
ニュースレター、ホームページ掲載

PICK UP

オープンハウス型説明会

「宮前区のミライづくりプロジェクト」の取組の一環として、令和5年2月に区内4か所で、計5回のオープンハウス型説明会を開催しました。アンケートの結果や区民祭での意見聴取の結果について、パネルで紹介しました。



UPDATE

今後のスケジュール

※ 再開発事業や現区役所等の移転などの全体の取組スケジュールや、当該地区を取り巻く環境の変化等を踏まえて、検討スケジュールを見直す可能性があります。

鷺沼駅地区再開発事業の検証結果を踏まえた再開発事業の全体スケジュールの変更を受け、令和4年11月に検討スケジュールを見直しました。

令和5年度には、関係団体等へのヒアリングを実施するとともに、ヒアリングやアンケート調査でいただいたご意見を踏まえ、市民ワークショップを実施し、令和6年度に基本的な考え方、令和7年度に活用基本方針の策定を予定しています。策定後は、活用基本方針に基づき取組を推進します。

～令和4(2022)年度 令和5(2023)年度 令和6(2024)年度 令和7(2025)年度 令和8(2026)年度～

関係団体等への説明・ヒアリング 第1回

市から取組の説明
現施設の利用状況の確認

区民意識アンケート 第1回

地域課題や
市民ニーズ等の確認

関係団体等への説明・ヒアリング 第2回

地域の課題や必要な機能の確認

市民検討ワークショップ

現施設・用地で実現したいことや、求める機能の検討

現施設・用地の活用に関する基本的な考え方の策定

活用基本方針の骨子として、現施設・用地の活用コンセプト案や導入機能のイメージ案、今後の進め方などの取りまとめ

活用基本方針の策定

現施設・用地の活用コンセプトや導入機能のイメージ、今後の取組等の取りまとめ

活用基本方針に基づく取組の推進

民間事業者のノウハウの活用など、整備に向けた更なる検討を実施

宮前区のミライづくりプロジェクト

詳細は区ホームページをご覧ください

<https://www.city.kawasaki.jp/miyamae/page/0000107004.html>



宮前区 ミライづくり 検索

お問合せ

土・日・祝を除く
8:30~12:00、13:00~17:15

川崎市 総務企画局 公共施設総合調整室
〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地
TEL: 044-200-0755 FAX: 044-200-3627
Eメールアドレス: 17koukyo@city.kawasaki.jp

宮前区のミライづくりプロジェクト

みんなで考える / 現宮前区役所等施設・用地の活用 ニュースレター vol.2



皆さまと一緒に、宮前区役所・市民館・図書館移転後の現区役所等施設・用地の活用について考えるニュースレターです

令和5(2023)年3月発行 | 川崎市

川崎市では、再開発の機会を捉えて、鷺沼駅周辺に宮前区役所・市民館・図書館を移転することとしています。この取組全体を「宮前区のミライづくりプロジェクト」と名付け、その一つとして、現在の区役所・市民館・図書館が移転した後の活用について検討を進めています。この検討は、①市による施設・用地保有、②宮前区全体と周辺エリアの将来を見据えた課題やニーズの整理、③市民参加による検討の3つの考えを基本として進めます。

区民意識アンケート結果を公開しました

宮前区役所・市民館・図書館の移転後の現区役所等施設・用地の活用について、区民の皆さまのご意見やニーズを幅広く把握するために、アンケートを実施しました。

令和4(2022)年9月に公表した基本集計結果に加えて、年代や居住地別などのクロス集計を加えた、「アンケートの結果」を取りまとめました。

アンケート結果は、「活用基本方針」の策定に向けた現施設・用地の周辺地域に限らず、宮前区全体の将来的なニーズの整理していくための基礎資料として活用していきます。

実施期間 令和4(2022)年6月1日～7月4日

対象者 宮前区在住の満10歳以上2,000人
(住民基本台帳から無作為抽出)

回収数 1,038件 回収率 51.9%

ご協力ありがとうございました!



アンケート結果(一部)は中面をご覧ください▶

宮前区民祭でシール投票を実施しました

令和4年10月16日(日)に開催された宮前区民祭では、移転後の現在の施設・用地の使い方について、アンケートの設問に合わせたシール投票を行いました。

約860人の多くの方々に投票いただき、とくに小中学生やお子さま連れのご家族の皆さまから、たくさんの投票をいただきました。

区役所・市民館・図書館が移転した後は、現在の宮前区役所・市民館・図書館の施設・用地をどのように、つかいたいですか?

436票 お子さんを遊ばせられる(子どもが遊べる)

357票 お祭りやバザー等のイベントができる

349票 運動やスポーツができる

TOP 3

アンケート結果・シール投票結果はこちらから▶

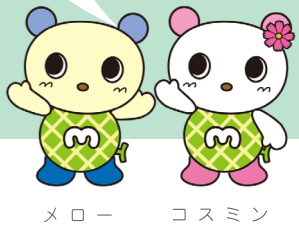
<https://www.city.kawasaki.jp/170/page/0000140348.html>



区民意識アンケートの結果

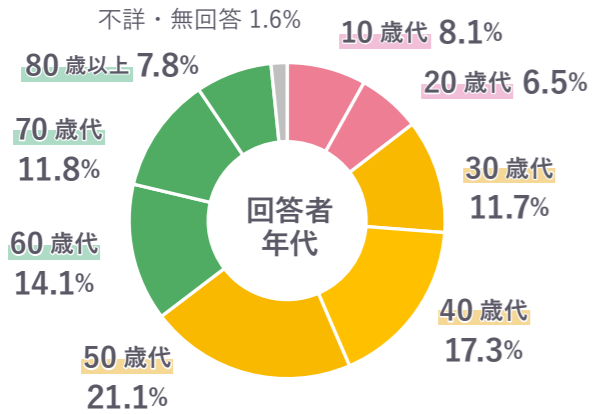
これからの区全域における課題やニーズを見据えた現宮前区役所等施設・用地の活用を検討するために、施設・用地の周辺地域と区全体について、また、現在と将来について、皆さまの考えを伺いました。

ここでは主なアンケート結果をご紹介します。

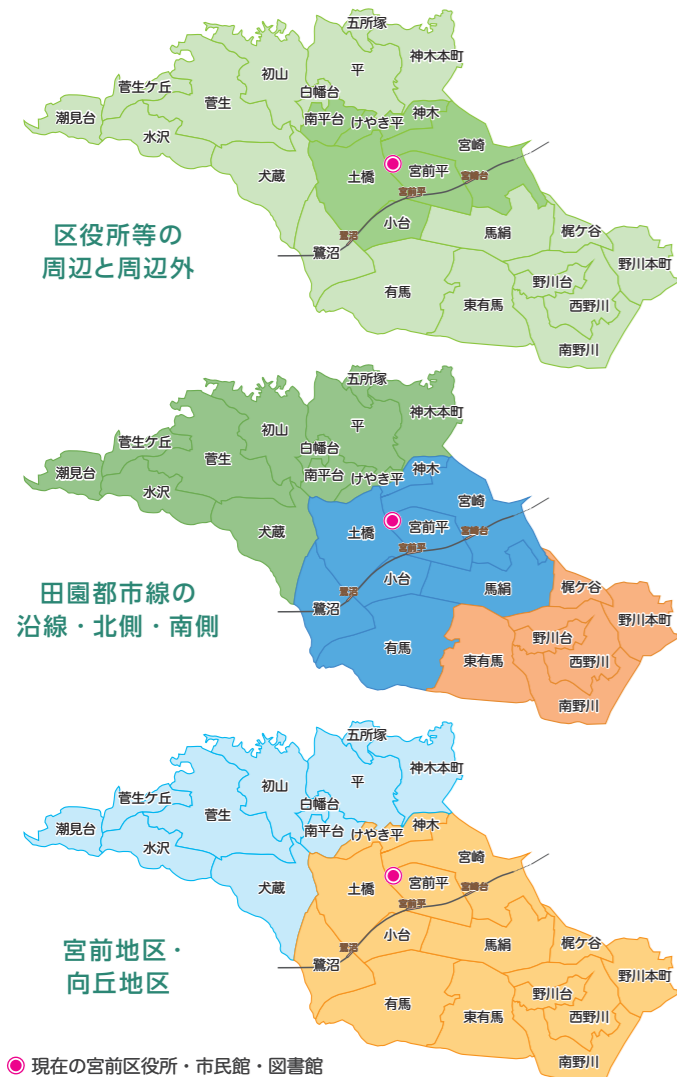


年代や居住地域を区分して分析を行いました

年代

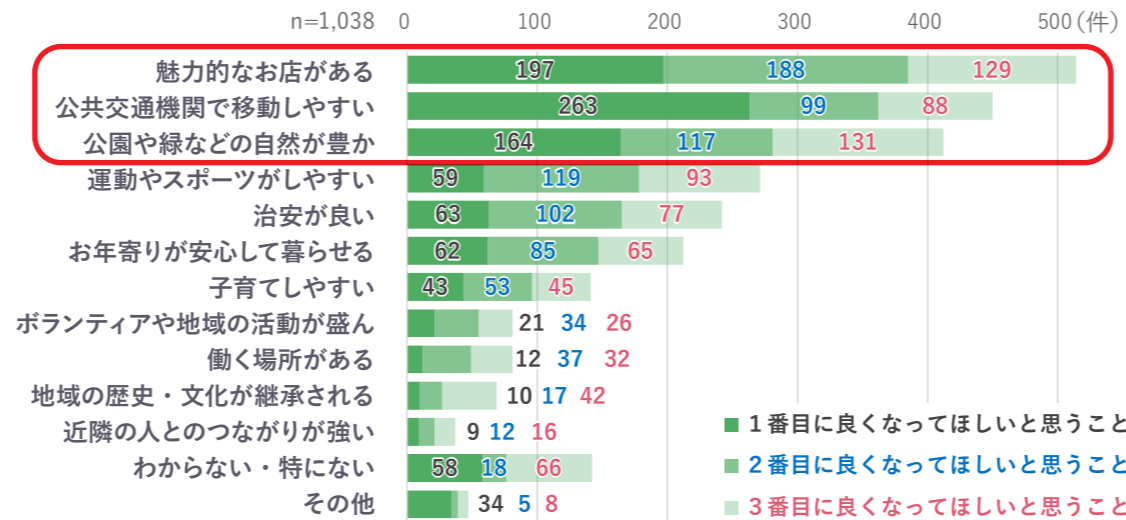


居住地域

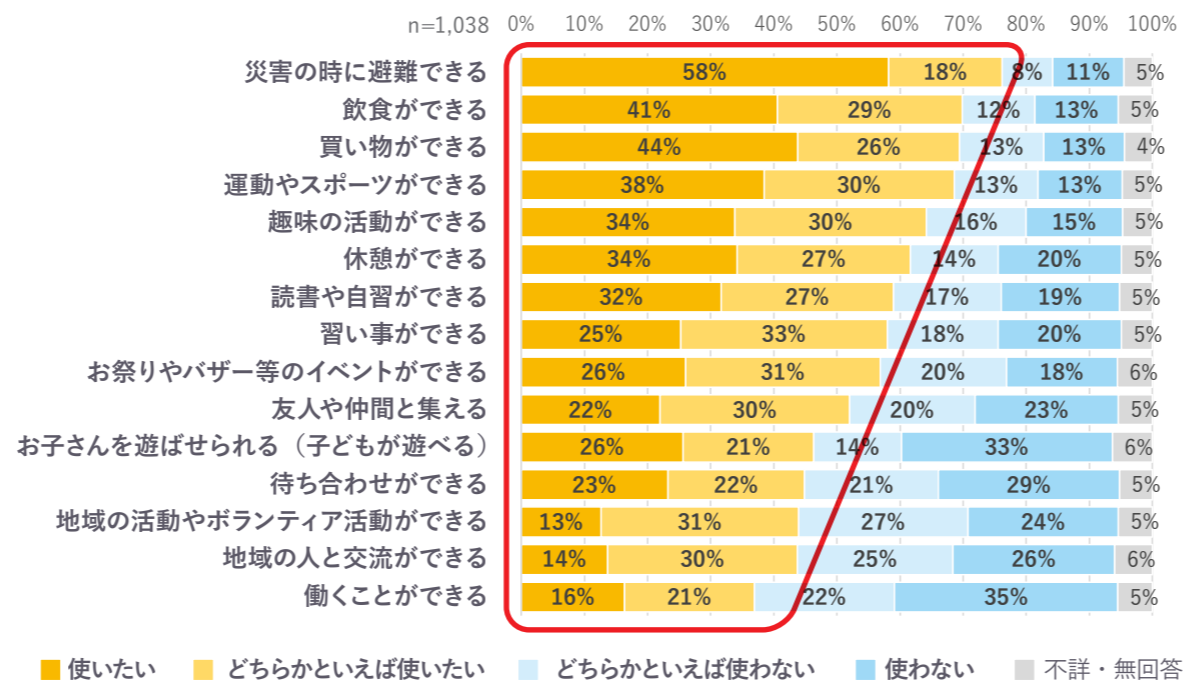


基本集計

Q 現在の宮前区役所・市民館・図書館がある周辺の地域について、**将来、どのように良くなってほしい**と思いますか？ [アンケート問7]



Q 区役所・市民館・図書館が**移転した**後に、現在の宮前区役所・市民館・図書館の施設・用地をどのように使いたいと思いますか？ [アンケート問8]



クロス集計

年代

TOP 3の項目について、**どんな年代が「1番目に良くなってほしい」と**思っている？

- 魅力的なお店がある**
 - 10代から50代までの比較的若い世代で「魅力的なお店がある」を望む割合が高い
 - とくに30代(29.8%)、40代(28.3%)が、「魅力的なお店」を選んでいる
- 公共交通機関で移動しやすい**
 - ほとんどの年代で「公共交通機関で移動しやすい」を望む割合が高い
 - 中でも、20代~60代は、各年代の25%以上が選んでいる
- 公園や緑などの自然が豊か**
 - 10代、60代以上のそれぞれの年代で15%以上が「自然が豊か」を選んでいる

居住地域

地域での違いは？

- 「魅力的なお店がある」ことについては、現施設・用地に近い地域のほうが遠い地域より、多くが選んでいる
- 「公共交通機関で移動しやすい」ことについては、現施設・用地から遠い地域のほうが、より多く選んでいる
- 「公園や緑などの自然が豊か」なことは、お住まいの地域に関わらず、ニーズがある

年代

各年代の「使いたい」と「どちらかといえば使いたい」が選ばれた割合のTOP 5項目は？

	10歳代 n=84	20歳代 n=67	30歳代 n=121	40歳代 n=180	50歳代 n=219	60歳代 n=146	70歳代 n=123	80歳以上 n=81
1位	災害時に避難できる 88.1%	災害時に避難できる 91.0%	運動やスポーツ 飲食ができる 84.3%	運動やスポーツ ができる 80.0%	災害時に避難できる 77.6%	災害時に避難できる 76.0%	災害時に避難できる 67.5%	災害時に避難できる 63.0%
2位	飲食ができる 84.5%	運動やスポーツ ができる 74.6%		買い物ができる 79.4%	買い物ができる 77.2%	運動やスポーツ ができる 66.4%	飲食ができる 買い物ができる 60.2%	休憩ができる 45.7%
3位	運動やスポーツ 82.1%	趣味の活動 ができる 73.1%	災害時に 避難できる 81.8%	飲食ができる 78.9%	飲食ができる 73.1%	飲食ができる 65.8%		趣味の活動 ができる 43.2%
4位		読書や自習 71.6%	買い物か 77.7%	災害時に 避難できる 75.6%	運動や スポーツ 71.2%	休憩ができる 63.7%		お祭りやバザー 等のイベント 39.5%
5位			子どもが 遊べる 71.9%	趣味の活動 70.6%	趣味の活動 68.5%	趣味の活動 62.3%	趣味の活動 54.5%	買い物か 38.3%

* 割合(%)は、各項目の年代単位の回答の割合を示すものです。

居住地域

地域での違いは？

- 地域別では、傾向に大きな差はなかった
- ほとんどの項目で、現施設・用地が含まれる区分のほうが、それ以外の地域と比べて、「使いたい」「どちらかといえば使いたい」のニーズが高い